

**平成30年度 事業報告書**

**平成30年度 決算報告書**

平成30年4月1日から  
平成31年3月31日まで

**公益財団法人 愛媛県スポーツ協会**

# 目 次

<b>【事業報告】</b>		
<b>総括</b>	.....	1
<b>事業体系図</b>	.....	2
<b>I スポーツ推進事業(公1)</b>		
<b>1 国民体育大会派遣事業</b>	.....	3
(1)国民体育大会派遣事業	.....	3
(2)国体予選会派遣事業	.....	4
(3)国体競技力向上環境整備事業	.....	4
(4)アンチドーピング教育・啓発事業	.....	4
(5)国民体育大会関係事業	.....	4
<b>2 スポーツ活動顕彰事業</b>	.....	5
(1)スポーツ顕彰事業	.....	5
(2)愛媛県スポーツ少年団顕彰事業	.....	5
<b>3 スポーツ指導者育成事業</b>	.....	6
(1)スポーツ指導者養成講習会事業	.....	6
(2)スポーツ指導者義務研修会事業	.....	6
(3)スポーツ指導者関係事業	.....	6
<b>4 青少年スポーツ育成事業</b>	.....	7
(1)スポーツ少年団指導者事業	.....	7
(2)スポーツ少年団リーダー育成事業	.....	8
(3)スポーツ少年大会事業	.....	8
(4)スポーツ少年団関係事業	.....	10
(5)ジュニアスポーツ支援事業	.....	10
<b>5 スポーツ普及促進事業</b>	.....	11
(1)県民スポーツ振興事業	.....	11
(2)全国大会等開催事業	.....	11
(3)雇用促進支援事業	.....	11
(4)スポーツ安全事業	.....	12
(5)総合型地域スポーツクラブ育成事業	.....	12
(6)愛媛スポーツレクリエーション祭支援事業	.....	12
(7)スポーツ医科学活用推進事業	.....	12
(8)競技力向上強化対策事業	.....	13
(9)国際交流事業	.....	13
(10)組織機能強化事業	.....	13
<b>II 愛媛県スポーツ協会各種会議概要</b>		
(1)評議員会・理事会・評議員選定委員会・役員推薦委員会	.....	14
(2)各委員会	.....	14
(3)スポーツ少年団	.....	15
(4)スポーツ指導者連絡会議	.....	15
(5)地域体育協会連絡協議会・競技団体連絡協議会	.....	15
(6)スポーツ推進支援事業選考委員会	.....	15
(7)「一町一技」スポーツ推進事業選考委員会	.....	15
<b>III 事業報告の附属明細書</b>	.....	15
<b>【決算報告、財務諸表等】</b>		
1 貸借対照表	.....	16
2 正味財産増減計算書	.....	17
3 正味財産増減計算書内訳表	.....	19
4 財務諸表に対する注記	.....	21
5 附属明細書	.....	22
6 財産目録	.....	23
7 正味財産増減計算書(予算対比)	.....	24
<b>【監査報告書】</b>	.....	28

# 事業報告

## 総括

公益財団法人愛媛県スポーツ協会（以下、「本会」という。）は、えひめ国体・えひめ大会によって生まれた県民のスポーツに対するレガシー（遺産）を次世代に引き継ぐため、地域スポーツの普及・振興などを目指して、各種事業に取り組んだ。

また、「スポーツ基本法」や「スポーツ庁」といった関連法や組織等との整合性を図るため、日本スポーツ協会と同時期の平成30年4月1日から「愛媛県スポーツ協会」へ名称を変更するとともに、公益法人としての公益性・透明性をより一層高め、県民から信頼される組織を目指して各種事業を実施した。

なお、「スポーツ立県えひめ」の実現に向けて、より効果的な実態に即した事業を推進するため、平成31年4月1日に本会と公益財団法人大亀スポーツ振興財団との合併に向け、平成30年12月4日に「合併契約書」を締結するなど、法律に基づいた諸手続きを行った。

重点努力目標に対する実施状況は、次のとおりである。

- 1 えひめ国体に向けてこれまで取り組んできた競技力の維持向上に努めるとともに、国体競技の底辺拡大を目指した「一町一技」の推進を図り、地域スポーツの振興に取り組んだ。  
また、優秀選手への就職の斡旋・紹介を継続して行うために、愛媛県社会人スポーツ推進協議会を改組し、引き続き無料職業紹介事業を展開するなど、雇用支援等への環境を整備した。
- 2 えひめ国体のレガシーを活かして、引き続き「スポーツ立県えひめ」を実現するため、2020年日本スポーツマスターズ愛媛大会の開催に向けた取り組みを行った。  
また、56年ぶりに開催される東京オリンピック・パラリンピック大会に関連する事業に協力した。
- 3 スポーツ医科学の専門家である医師（スポーツドクター）、歯科医（スポーツデンティスト）、薬剤師（スポーツファーマシスト）、スポーツトレーナー、栄養士（スポーツ栄養士）などと連携してトータルサポート体制を確立し、パフォーマンス向上のために、選手を支援した。
- 4 スポーツ指導者等の反倫理的行為や言動が生じないように、加盟団体と情報交換を行い、スポーツ指導者の資質向上と選手に対するフェアプレイ精神の徹底を図るために各種研修会を開催した。
- 5 スポーツに対する信頼とスポーツの価値を高めるため、スポーツ団体としてのリスクマネジメントに取り組み、会計や税務を含めたガバナンスの強化に努めた。

# 事業一覧

公1

スポーツ  
推進事業

(1)

国民体育大会  
派遣事業

国民体育大会派遣事業  
国体予選会派遣等事業  
国体競技力向上環境整備事業  
アンチドーピング教育・啓発事業  
国民体育大会関係事業

(2)

スポーツ活動  
顕彰事業

スポーツ顕彰事業  
愛媛県スポーツ少年団顕彰事業

(3)

スポーツ指導者  
育成事業

スポーツ指導者養成講習会事業  
スポーツ指導者義務研修会事業  
スポーツ指導者関係事業

(4)

青少年スポーツ  
育成事業

スポーツ少年団指導者事業  
スポーツ少年団リーダー育成事業  
スポーツ少年大会事業  
スポーツ少年団関係事業  
ジュニアスポーツ支援事業

(5)

スポーツ普及  
促進事業

県民スポーツ振興事業  
全国大会等開催事業  
雇用促進支援事業  
スポーツ安全事業  
総合型地域スポーツクラブ育成事業  
愛媛スポーツレクリエーション祭支援事業  
スポーツ医科学活用推進事業  
競技力向上強化対策事業  
国際交流事業  
組織機能強化事業  
スポーツ俳句大賞事業

# I スポーツ推進事業(公1)

日本国民のスポーツの祭典である国民体育大会への派遣、県民のスポーツ活動の顕彰、指導者の養成、青少年スポーツの育成、スポーツの普及促進など、広くスポーツ振興を推進し、県民の生涯にわたるスポーツの振興を図るために各種事業を実施した。

## 1 国民体育大会派遣事業

第73回国民体育大会(本大会)は福井県で開催され、本県からは役員・監督・選手総計617名が参加し、総合成績は12位であった。第74回国民体育大会冬季大会は北海道で開催され、役員・監督・選手総計48名が参加した。また、本国体を目指して愛媛県予選会及び四国ブロック大会が行われ、これらの各種予選会に対し助成を行った。

### (1) 国民体育大会派遣事業(愛媛県補助金)【決算額 75,950,040 円】

#### 1) 国民体育大会愛媛県選手団

季(回)	開催地	会期	参加人員		
			役員	監督・選手	計
①第73回国民体育大会	福井県	9月29日～10月9日 (会期前 9月22日～23日)	34名	583名	617名
②第74回国民体育大会 冬季大会(スケート・アイスホッケー)	北海道	1月31日～2月3日	4名	22名	26名
③第74回国民体育大会 冬季大会(スキー)	北海道	2月14日～17日	3名	19名	22名
合計			41名	624名	665名

#### 2)天皇杯成績(73回)

男女総合成績 12位

総合得点 1235.00点  
(参加得点 400.00点)  
(競技得点 835.00点)

#### 3)皇后杯成績(73回)

女子総合成績 10位

総合得点 763.00点  
(参加得点 350.00点)  
(競技得点 413.00点)

#### 4)冬季大会天皇杯・皇后杯成績(74回)

①男女総合成績 30位

総合得点 40点  
(参加得点 30点)  
(競技得点 10点)

②女子総合成績 28位

総合得点 20点  
(参加得点 20点)  
(競技得点 0点)

## (2) 国体予選会等派遣事業(愛媛県補助金)【決算額 7,024,814円】

### 1) 第73回国民体育大会愛媛県予選会

(スケート、アイスホッケー、スキーについては第74回大会)

各競技団体が開催する国民体育大会愛媛県予選会について、21団体に補助した。

開催日	参加人数	場所
4月14日～1月13日	1,633名	愛媛県内他

### 2) 国民体育大会第39回四国ブロック大会

各競技団体が開催・参加した国民体育大会四国ブロック大会について、32団体に補助した。

開催日	参加人数	場所
6月24日～12月16日	761名	高知県他

## (3) 国体競技力向上環境整備事業(愛媛県補助金)【決算額 510,600円】

国体の本大会に出場するため多額の運搬経費を必要とする競技(馬術、セーリング)については、その経費の一部を補助した。

## (4) アンチドーピング教育・啓発事業(日本スポーツ協会委託金)

【決算額 334,292円】

国体選手のドーピングについて、スポーツ医科学委員会が中心となって助言指導を行った。また、国体選手の健康診断(940名)を実施し、9月(本国体)と1月(冬季国体)に開催した結団式において、ドーピング禁止薬などの注意・指導を徹底した。

対象者	開催日	場所	人数
第73回国民体育大会 参加者	9月5日	愛媛県武道館 主道場	583名
第74回国民体育大会冬季大会 参加者	1月23日	愛媛県庁第一別館第3会議室	41名

## (5) 国民体育大会関係事業(愛媛県補助金・自主財源)【決算額 2,323,567円】

国体全般に関する事業として、本年度は監督会議を9月(本国体)と1月(冬季国体)の2回開催した。本国体は34名、冬季国体は7名の役員が分担して、国体開催地で全競技の激励訪問するとともに、他県を含めた競技力の分析等を行った。

## 2 スポーツ活動顕彰事業

永年にわたり、スポーツの分野で活躍した功績が顕著である個人又は団体を表彰し、その栄誉を称えとともに、本県スポーツの振興に資することを目的として、顕彰事業を実施した。

### (1) スポーツ顕彰事業(自主財源)【決算額 2,375,418 円】

#### 1) 国関係

NO	表彰名	受賞数
1	文部科学大臣表彰生涯スポーツ功労者賞	2
2	文部科学大臣表彰生涯スポーツ優良団体(クラブ)賞	2
3	文部科学大臣表彰生涯スポーツ優良団体(クラブ以外)賞	2
4	日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰	5

#### 2) 県関係

①公益財団法人愛媛県スポーツ協会表彰式

②日時:平成31年2月27日(水)

③場所:ANAクラウンプラザホテル松山

NO	表彰名	受賞数			
		個人	団体	合計	
1	スポーツ功労賞	2		2	
2	最優秀スポーツ選手賞	1	0	1	
3	スポーツ医科学功労賞	2		2	
4	優秀スポーツ選手賞	オリンピック・パラリンピック部門	1	0	1
		国際大会部門	14	0	14
		全国大会部門	28	12	40
		日本新記録	2	0	2
		連続優勝	7	9	16
		マスターズ部門	2	0	2
		福祉部門	29	0	29
		小計	83	21	104
5	最優秀スポーツ指導者賞	2		2	
6	国民体育大会選手特別賞	5		5	
7	国民体育大会監督特別賞	1		1	
8	優秀スポーツ指導者賞	(I)育成指導者部門	9		9
		(II)優秀選手指導者部門	4		4
9	優秀スポーツクラブ賞		1	1	
10	優秀スポーツ団体賞		2	2	
11	国民体育大会入賞選手賞	48	36	84	
合計		157	60	217	

### (2) 愛媛県スポーツ少年団顕彰事業(自主財源)【決算額 46,094 円】

#### 1) 日本スポーツ少年団関係

NO	表彰名	受賞数
1	優良市町スポーツ少年団	1 団体
2	優秀指導者	2 名

#### 2) 県スポーツ少年団関係

NO	表彰名	受賞数
1	優良スポーツ少年団	4 団体
2	優秀指導者	6 名



### 3 スポーツ指導者育成事業

適切なスポーツ指導能力を有する人材を養成する「スポーツ指導者養成講習会事業」と、養成されたスポーツ指導者が研鑽を重ね、より一層の資質向上を図る「スポーツ指導者義務研修会事業」等を実施した。

#### (1) スポーツ指導者養成講習会事業(日本スポーツ協会委託金)【決算額 578,083 円】

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者を養成するため、日本スポーツ協会と加盟競技団体及び本会との共催で資格取得講習会を実施し、本会が「共通科目」を、加盟競技団体が「専門科目」の講習会を開催した。

##### 1) スポーツリーダー養成講習会

コース	開催期間	開催場所	参加者数
大洲コース	5月12日・5月13日	大洲市総合福祉センター	15名
西条コース	5月19日・5月20日	西条市総合福祉センター	17名
松山コース	10月27日・10月28日	愛媛県武道館	28名
合計			60名

##### 2) 競技別指導者養成講習会

競技名	開催期間	開催場所	参加者数
ソフトテニス	12月23日～1月27日	今治市立玉川中学校	4名
弓道	8月26日～11月25日	愛媛県総合運動公園弓道場	6名
合計			10名

#### (2) スポーツ指導者義務研修会事業(日本スポーツ協会委託金)【決算額 363,320 円】

公認スポーツ指導者は、資格の有効期限が4年間となっている。資格を更新するためには「公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者登録規程」の定めにより、有効期限までに本会、日本スポーツ協会、又は競技団体が開催するいずれかの研修会を受講しなければならないため、本会では次のとおり年3回開催した。

	開催期間	開催場所	参加者数
第1回	6月29日・7月5日・7月11日	ひめぎんホール別館	19名
第2回	11月17日	テクノプラザ愛媛	140名
第3回	2月23日	テクノプラザ愛媛	141名
合計			300名

#### (3) スポーツ指導者関係事業(自主財源)【決算額 115,952 円】

全国スポーツ指導者研修会への参加及び県内のスポーツ指導者連絡会議等を開催して、指導者の育成に努めた。また、競技を越えた指導者同士の情報交換及び相互研修を目的に、関係団体等の代表者が集結し、積極的な意見交換を行った。

##### ①各種会議

会議名	期日	会場	参加人数
全国スポーツ指導者連絡会議	12月7日	TKPガーデンシティ渋谷(東京)	1名
愛媛県スポーツ指導者連絡会議	7月2日	ひめぎんホール別館	34名

##### ②日本スポーツ協会公認スポーツ指導者登録人数

競技別指導者資格	フィットネス資格	メディカルコンディショニング資格	マネジメント資格	合計
2,462名	89名	155名	101名	2,807名

## 4 青少年スポーツ育成事業

青少年(ジュニア)のスポーツを普及・育成するために、スポーツ少年団の普及・啓発活動を実施し、ジュニアスポーツを支援した。

スポーツ少年団は、「一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを提供する」、「スポーツを通して青少年のこころとからだを育てる」ことを理念に掲げ、「スポーツによる青少年の健全育成」を目的として、各種事業を実施した。

### (1)スポーツ少年団指導者事業

#### 1)スポーツ少年団登録人数(5年間)

年 度	団 数	指導者数	有資格指導者数	団員数			役職員数
				男子	女子	計	
平成 30 年度	439 団	2,044 名	1,415 名	5,604 名	2,802 名	8,406 名	115 名
平成 29 年度	449 団	2,024 名	1,349 名	5,681 名	2,853 名	8,534 名	129 名
平成 28 年度	454 団	2,097 名	1,508 名	5,850 名	2,879 名	8,729 名	119 名
平成 27 年度	445 団	2,127 名	1,470 名	5,955 名	2,989 名	8,944 名	122 名
平成 26 年度	479 団	2,090 名	1,366 名	6,502 名	3,112 名	9,614 名	119 名

#### 2)全国スポーツ少年団指導者研究大会事業(自主財源)【決算額 20,960 円】

ジュニアスポーツ及び生涯スポーツの振興並びにジュニアスポーツの望ましい指導体制の確立を目指して、本研修会に市町スポーツ少年団関係者が参加し、講演や分科会を通して、ジュニアスポーツ指導者に必要な教養を身に付けた。

期 日	会 場	参 加 人 数
6 月 17 日	ホテルグランドパレス ( 東京都 )	1 名

#### 3) 四国ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会事業(日本スポーツ協会助成金)

【決算額 83,581 円】

四国各県のスポーツ少年団指導者協議会の中心的な会員等が参加し、研修・意見交換などを通して、指導者としての資質の向上と相互の連携を深めた。

期 日	会 場	参 加 人 数
11 月 24 日～25 日	ホテルパールガーデン ( 香川県 )	3 名

#### 4) スポーツ少年団認定員養成講習会(日本スポーツ協会委託金)【決算額 637,786 円】

地域・市町で活躍する「スポーツ少年団指導者」の育成と研修を目的として、団活動の推進などの基本的な内容を習得するために講習会を 3 コース実施した。

コース	期 日	会 場	参加人数
① 大洲コース	5 月 12 日(土)・5 月 13 日(日)	大洲市総合福祉センター	14 名
② 西条コース	5 月 19 日(土)・5 月 20 日(日)	西条市総合福祉センター	44 名
③ 松山コース	10 月 27 日(土)・10 月 28 日(日)	愛媛県武道館	68 名
合 計			126 名

## (2)スポーツ少年団リーダー育成事業

### 1)全国スポーツ少年団リーダー連絡会議事業(自主財源)【決算額 14,080 円】

全国都道府県スポーツ少年団リーダーの相互研修及び情報交換を通じ、各都道府県リーダー会の充実・強化、さらには全国的ネットワークの構築を目指し、各都道府県スポーツ少年団リーダー代表による全国会議に参加した。

期 日	会 場	参 加 人 数
6 月 16 日～17 日	国立オリンピック記念青少年総合センター( 東京都 )	2 名

### 2) スポーツ少年団シニアリーダースクール事業(自主財源)【決算額 16,200 円】

市町における中心的なリーダーを育成するため、リーダーの資質向上と将来の指導者となる青少年リーダーを対象とした事業に対し、参加者を派遣した。

期 日	会 場	参 加 人 数
8 月 10 日～13 日	国立中央青少年交流の家 ( 静岡県 )	1 名

### 3) 四国ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会事業(自主財源)【決算額 210,380 円】

四国4県スポーツ少年団リーダー研究大会を開催し、講習・体験などを通じて、リーダーとしての資質の向上と、相互の連携を深め、組織の整備・充実を図った。

期 日	会 場	参 加 人 数
11 月 3 日～4 日	えひめ青少年ふれあいセンター ( 愛媛県 )	24 名

### 4) スポーツ少年団ジュニアリーダースクール事業(日本スポーツ協会助成金)

【決算額 331,467 円】

スポーツ少年団における中心的なリーダーを対象に、将来のスポーツ少年団指導者として団活動に役立つ教養を身に付ける目的で実施した。

期 日	会 場	参 加 人 数
8 月 16 日～18 日	国立大洲青少年交流の家 ( 愛媛県 )	36 名

## (3)スポーツ少年団大会事業

### 1)全国スポーツ少年団大会事業(自主財源)【決算額 0 円】

スポーツ少年団の交流活動を促進し、地域における団活動の活性化と、スポーツ少年団の振興を図るために、参加者を募集した。

期 日	会 場	参 加 人 数
8 月 2 日～5 日	茨城県立白浜少年自然の家 ( 茨城県 )	不参加

2) 四国ブロックスポーツ少年団競技別交流大会事業(日本スポーツ協会助成金)

【決算額 859,880 円】

熱心に活動を続ける団員に対して、四国各県の団員との交流の機会を多くするために、四国ブロック競技別交流大会に参加した。

(5 大会)

競 技	期 日	会 場	参加 県数	県内参加 チーム数・人数
軟式野球	6月30日～7月1日	高知県 (高知市総合運動場)	4	2チーム
サッカー	7月7日～8日	徳島県 (徳島スポーツビレッジ)	4	2チーム
ソフトボール	7月14日～15日	香川県 (香川県青年センター)	3	2チーム
ミニバスケット ボール(女子)	7月21日～22日	愛媛県 (砥部町陶街道ゆとり公園体育館)	4	2チーム
スポーツ 少年大会	11月3日～4日	愛媛県 (えひめ青少年ふれあいセンター)	4	31名

3) 愛媛県スポーツ少年大会事業(第51回愛媛県スポーツ少年大会)(自主財源)

【決算額 1,982,492 円】

スポーツ少年団の活動内容の充実を図り、スポーツ交流を通して友情と連帯意識を育み、現代社会の青少年をめぐる諸問題に対応できる明るくたくましいスポーツ少年の育成を目的として各種大会を7競技実施した。

競 技	期 日	会 場	参加 市町数	参加チーム数
軟式野球 (全国交流大会予選会)	6月2日～3日	坊ちゃんスタジアム 他	12	16チーム
ソフトボール	6月9日 ※6月10日 雨天中止	松山中央公園 他	13	37チーム
ミニバスケットボール	6月30日～7月1日	砥部町陶街道ゆとり公園 体育館 他	12	54チーム
サ ッ カ ー	10月14日	愛媛県総合運動公園	10	19チーム
剣 道 (全国交流大会予選)	11月25日	愛媛県武道館	14	31チーム
バレーボール (全国交流大会予選)	11月24日～25日	砥部町陶街道ゆとり公園 体育館 他	9	44チーム
柔 道	12月1日	愛媛県武道館	8	21チーム
合 計				222チーム

競 技	期 日	会 場	参加 市町数	参加チーム数
陸 上	4月29日	愛媛県総合運動公園	7	12チーム

## 全国交流大会へ参加

競技	期 日	会 場	チ ャーム 名
剣 道	3月27日～29日	維新百年記念公園 「スポーツ文化センター」	小学生団体 南宇和剣道会スポーツ少年団
			中学男子個人 織田 祐輔 (宮窪剣道スポーツ少年団)
			中学女子個人 御堂 真滉 (宮窪剣道スポーツ少年団)
バレーボール	3月28日～31日	別府市総合体育館 他	味生Ⅱバレーボールクラブ (女子)

## (4)スポーツ少年団関係事業

### 1) スポーツ少年団強化事業(日本スポーツ協会助成金・寄付金)

【決算額 1,029,300 円】

市町スポーツ少年団の指導体制の強化と組織の資質向上を目指し、スポーツ少年団人口の拡大等を図るために、18団体に助成し、5,572名が参加した。

期 日	会 場	参加人数
4月1日～3月31日	愛媛県下	5,572名

### 2) スポーツ少年団広報事業【決算額 619,428 円】

スポーツ少年団活動に対する理解を深めることを目的に、広報誌「愛媛県スポーツ少年団だより」を作成し、県教育委員会、市町体育・スポーツ協会、市町スポーツ少年団、各単位団等の関係団体に配布した。

## (5)ジュニアスポーツ支援事業

### 1)ジュニア運動能力育成事業(日本スポーツ協会委託金)【決算額 30,900 円】

平成30年7月に発生した西日本豪雨災害による被災地の子どもたちに運動する機会を提供するため、アクティブチャイルドプログラム(ACP)を実施した。

事業名	期 日	会 場	参加人数
平成30年7月豪雨災害支援事業 「みんなで遊んで元気アップ広場！」 大洲コース	8月16日	国立大洲青少年交流の家	21名
平成30年7月豪雨災害支援事業 「みんなで遊んで元気アップ広場！」 松山コース	8月22日～23日	えひめこどもの城	71名
平成30年7月豪雨災害支援事業 「みんなで遊んで元気アップ広場！」 西予コース	9月2日	愛媛県歴史文化博物館	29名
合 計			121名

## 5 スポーツ普及促進事業

本会及び加盟団体(各市町体育・スポーツ協会、各競技団体)が実施する各種スポーツ事業に対して助成等を行い、県民がスポーツに親しむ機会を増やし、スポーツの振興と普及に努めた。

### (1) 県民スポーツ振興事業(自主財源)【決算額 5,295,847円】

愛媛県内全ての市町体育・スポーツ協会及び国体競技以外の競技団体が実施する県民を対象としたスポーツ活動に対して助成した。今年度は、市町・スポーツ体育協会20団体、競技団体(国体競技以外)15団体の合計35団体に助成し、16,909名が参加した。  
また、加盟団体のリスクマネジメントの一環として、本会及び加盟団体(学校体育団体以外)が主催するイベントに対する主催者責任保険に加入した。

#### ①県民スポーツ振興事業

	実施団体数	期間	参加人数
市町体育・スポーツ協会	20団体	5月8日～3月17日	13,167名
競技団体(国体競技以外)	15団体	5月20日～3月2日	3,742名
合計			16,909名

#### ②加盟団体登録人数

高校生人数	一般人数	登録数合計
17,345名	19,651名	36,996名

#### ③一町一技スポーツ推進事業

団体	競技名	期間	参加人数
伊予市スポーツ協会 愛媛県バレーボール協会	ビーチバレー	8月4日	98名
新居浜市スポーツ協会 愛媛県セーリング連盟	セーリング	6月2日～3日、9月2日、 12月1日～2日、 12月8日～9日	147名
松前町スポーツ協会 愛媛県ホッケー協会	ホッケー	2月18日～28日	260名
合計			505名

### (2) 全国大会等開催事業(自主財源)【決算額 100,000円】

愛媛県で全国大会等を実施した競技団体に対して開催経費の一部を助成した。今年度は、1大会に助成した。

大会名	開催期日	会場	参加人数
第35回 全日本小学生ソフトテニス選手権大会	7月26日～7月30日	今治市営スポーツパークテニスコート 今治市営桜井スポーツランドテニスコート	1,144名

### (3) 雇用促進支援事業(自主財源)【決算額 0円】

#### 1)職場開拓と就職支援活動

本県出身者をはじめ、全国の優秀な選手・指導者を確保するため、県内の雇用先を開拓し、無料職業紹介事業を展開するなど就職を支援した。

#### 2)社会人スポーツ推進協議会の改組

本県出身の有望選手(学生等)の県内企業への受け皿を開拓するとともに、企業等によるスポーツ振興を図るため、社会人スポーツ推進協議会を改組し、企業等におけるスポーツ活動の推進を継続的に展開した。

#### ①会員構成

企業・事業所	県・自治体	大学・団体	競技団体 他	合計
275	21	6	51	353

#### (4) スポーツ安全事業(スポーツ安全協会委託金)【決算額 7,419,000 円】

スポーツ活動等における安全確保やスポーツ傷害等について研修会や広報等を行うとともに、スポーツ及び社会教育の振興に寄与することを目的に、公益財団法人スポーツ安全協会と業務委託契約を締結し、スポーツ安全事業を実施した。

(平成31年3月末現在)

加入団体数	加入者数	掛金
3,678団体	82,871人	99,457,850円

#### (5) 総合型地域スポーツクラブ育成事業(スポーツ振興くじ助成事業)【決算額 0円】

全ての県民がスポーツに親しむことのできる生涯スポーツ社会の実現を目指し、地域住民主体で運営し学校教育施設等を活用した総合型地域スポーツクラブの設立に支援した。また、独立行政法人日本スポーツ振興センターが実施するスポーツ振興くじ助成事業を活用して、総合型地域スポーツクラブの創設を希望する団体に対して、クラブの立ち上げから設立まで、助成金の活用について指導を行った。

#### (6) 愛媛スポーツ・レクリエーション祭支援事業(自主財源)【決算額 0円】

勝敗のみを競うのではなく、だれでも、いつでも、どこでも気軽にスポーツ・レクリエーション活動を楽しみ交流を深めることを目的として、県が実施するスポーツ・レクリエーション祭の連絡調整などに支援協力した。

#### (7) スポーツ医科学活用推進事業(愛媛県補助金)【決算額 10,113,690 円】

##### 1) スポーツ医科学指導者派遣等事業

成長期における傷害の予防方法や効率的なトレーニング方法を習得するため、スポーツ医科学に関する専門家の人材情報を集積するとともに、専門家の派遣を行い、医科学サポートを推進し、主にジュニア選手の競技力向上を図った。延べ147回講師を派遣し、合計5,100名が参加した。

区分	派遣団体数	派遣回数	参加人数
歯科医	2団体	2回	40名
薬剤師	5団体	8回	185名
栄養士	11団体	27回	783名
トレーナー	17団体	110回	4,092名
合計	35団体	147回	5,100名

##### 2) スポーツ医科学レベルアップ事業

選手からのニーズが多いスポーツトレーナー等については専門分野に分かれているため、最新のスポーツ医科学に関する情報を習得するための研修会を開催し、本県への効果的な医科学サポートを図った。合計242名が参加した。

区分	開催期間	開催場所	参加人数
第1回	11月18日	愛媛県武道館	78名
第2回	12月9日	松山市青少年センター	73名
第3回	3月3日	松山市青少年センター	91名
合計			242名

## (8) 競技力向上強化対策事業(自主財源)【決算額 4,404,090円】

成年・少年種別の競技力向上を図るため、優秀な素質を有する選手に対し、強化対策活動費助成などの支援を行った。

### 1) えひめ国体少年種別強化奨励金給付事業

えひめ国体での天皇杯・皇后杯獲得を目標に、競技スポーツ活動に関して優秀な素質を有する県外出身者である県内高校生等に対して、スポーツ活動費等の一部を支援する事業を行った。本年度は9名に対して給付を行った。

団体名	所属学校名	人数
愛媛県体操協会	済美高等学校、聖カタリナ学園高等学校、新田高等学校	3名
一般社団法人愛媛県バスケットボール協会	聖カタリナ学園高等学校	3名
愛媛県相撲連盟	愛媛県立津島高等学校、愛媛県立野村高等学校	2名
愛媛県ラグビーフットボール協会	新田高等学校	1名
合 計		9名

### 2) 競技力向上特別対策事業

公益財団法人の寄附金に対する税制上の優遇措置を活用し、寄附者からの金銭またはその財産を広く募り、その財源で競技力向上のために必要とする競技団体に対して、県費の補助対象外などの事業に対して補助を行った。本年度は、1競技団体に対して補助した。

## (9) 国際交流事業

### 1) 日韓・日中交流事業(日本スポーツ協会委託金)【決算額 0 円】

スポーツによる日中・日韓交流を一層促進するため、両国の地域レベルにおけるスポーツ交流を通じて、相互理解を深め友好親善を図るとともに、各地域のスポーツの振興を図ることを目的に交流事業を実施しているが、本年度は該当団体がいなかったため、未実施となった。

### 2) 日独スポーツ少年団同時交流事業(第45回日独スポーツ少年団同時交流)(愛媛県補助金)【決算額1,151,704 円】

両国スポーツ少年団の優れたリーダーの相互交流により、スポーツ少年団の活動を活性化し、併せて将来における指導者となるリーダーの育成を図った。

区 分	期 間	派遣・受入先	本 県 人 数	全 国 人 数
派遣	7月31日～8月17日	ラインラントプファルツ州 他	1 名	82 名
受 入	7月26日～30日	松前町・松山市	11 名	122 名

## (10) 組織機能強化事業(愛媛県補助金)【11,510,675円】

競技力向上に不可欠な各分野において、専門的知見を有する人材を配置し、本会の事務局機能を強化した。

## (11) スポーツ俳句大賞事業(自主財源)【決算額1,208,472円】

「第17回えひめスポーツ俳句大賞」を開催し、全国の47都道府県から4,683点の作品が寄せられた。表彰は次のとおりである。

区 分	期 日	場 所
俳句部門 大賞(一般・1名)・(ジュニア・1名) 報道関係賞(一般・8名)・(ジュニア・8名)	3月24日	ひめぎんホール
○一般の部 金賞(4名)・銀賞(5名)・銅賞(5名)・入選(15名)		
○ジュニアの部 金賞(4名)・銀賞(5名)・銅賞(5名)・入選(15名)		
全国高校野球選手権大会第100回記念特別賞 ○一般の部(1名) ○ジュニアの部(1名)		
愛・野球博特別賞 ○一般の部(5名) ○ジュニアの部(5名)		
ハイブリッド部門 大賞(1名)・金賞(2名)・銀賞(3名)・銅賞(3名)		
全国高校野球選手権大会第100回記念特別賞(1名)		
愛・野球博特別賞(2名)		



## Ⅱ 各種会議概要

### (1) 評議員会・理事会・評議員選定委員会・役員推薦委員会

会議名	回数	開催年月日	場所	参加人数
評議員会	1	平成30年6月7日	ひめぎんホール別館	12名
	2	平成31年12月19日	ひめぎんホール別館	15名
	3	平成31年3月27日	ひめぎんホール別館	15名

会議名	回数	開催年月日	場所	参加人数
理事会	1	平成30年5月21日	ひめぎんホール別館	21名
	2	平成30年6月29日	ひめぎんホール別館	18名
	3	平成30年12月4日	ひめぎんホール別館	17名
	4	平成31年1月23日	愛媛県庁第1別館	16名
	5	平成31年3月18日	ひめぎんホール別館	12名

会議名	回数	開催年月日	場所	参加人数
評議員選定委員会	1	平成30年5月28日	愛媛新聞社会議室	4名
	2	平成30年6月7日	ひめぎんホール別館	4名
	3	平成31年3月22日	ひめぎんホール別館	4名

会議名	回数	開催年月日	場所	参加人数
役員推薦委員会	1	平成30年5月28日	愛媛新聞社会議室	4名
	2	平成31年3月22日	ひめぎんホール別館	4名

### (2) 各委員会

会議名	回数	開催年月日	場所	参加人数
総務委員会	1	平成30年5月15日	ひめぎんホール別館	5名
	2	平成30年8月9日	国際ホテル松山 パールの間	5名
	3	平成31年1月17日	ひめぎんホール別館	4名
	4	平成31年3月13日	ひめぎんホール別館	5名

会議名	回数	開催年月日	場所	参加人数
強化・育成委員会	1	平成30年8月29日	ひめぎんホール別館	16名
	2	平成31年1月17日	ひめぎんホール別館	20名

会議名	回数	開催年月日	場所	参加人数
スポーツ医科学委員会	1	平成30年8月22日	ひめぎんホール別館	16名
	2	平成31年1月17日	ひめぎんホール別館	16名

会議名	回数	開催年月日	場所	参加人数
愛媛県社会人スポーツ推進協議会	1	平成30年6月29日	ひめぎんホール別館	17名

### (3) スポーツ少年団

会議名	回数	開催年月日	場所	参加人数 (委任含)
委員総会	1	平成30年5月17日	ひめぎんホール別館	26名
	2	平成31年3月5日	ひめぎんホール別館	28名

会議名	回数	開催年月日	場所	参加人数 (委任含)
常任委員会	1	平成30年5月17日	ひめぎんホール別館	13名
	2	平成30年8月21日	ひめぎんホール別館	11名
	3	平成31年3月5日	ひめぎんホール別館	13名

会議名	回数	開催年月日	場所	参加人数
交流大会専門部会	1	平成31年2月25日	ひめぎんホール別館	7名

会議名	回数	開催年月日	場所	参加人数
リーダー育成専門部会	1	平成31年3月1日	ひめぎんホール別館	3名

会議名	回数	開催年月日	場所	参加人数 (委任含)
スポーツ少年団指導者協議会	1	平成31年3月5日	ひめぎんホール別館	20名

### (4) スポーツ指導者連絡会議

会議名	回数	開催年月日	場所	参加人数
スポーツ指導者連絡会議	1	平成30年7月2日	ひめぎんホール別館	34名

### (5) 地域スポーツ協会連絡協議会・競技団体連絡協議会

会議名	回数	開催年月日	場所	参加人数
地域体育協会連絡協議会 競技団体連絡協議会	1	平成30年8月9日	国際ホテル松山 常盤の間	51名

### (6) スポーツ推進支援事業選考委員会

会議名	回数	開催年月日	場所	参加人数
スポーツ推進支援事業 選考委員会	1	平成31年3月27日	ひめぎんホール別館	8名

### (7) 「一町一技」スポーツ推進事業選考委員会

会議名	回数	開催年月日	場所	参加人数
「一町一技」スポーツ推進 事業選考委員会	1	平成30年5月21日	ひめぎんホール別館	6名
	2	平成31年3月18日	ひめぎんホール別館	6名

## Ⅲ 事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

決 算 報 告  
財 務 諸 表 等

# 1. 貸借対照表

平成31年3月31日現在

公益財団法人愛媛県スポーツ協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,884,425	18,518,549	△ 16,634,124
未収金	13,713,832	13,295,607	418,225
前払金	78,770	9,188	69,582
立替金	0	20,535	△ 20,535
仮払金	0	1,331	△ 1,331
長期前払費用	0	59,616	△ 59,616
流動資産合計	15,677,027	31,904,826	△ 16,227,799
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	10,577,463	9,745,031	832,432
競技力向上特別強化基金	27,972,000	27,972,000	0
特定資産合計	38,549,463	37,717,031	832,432
固定資産合計	38,549,463	37,717,031	832,432
資産合計	54,226,490	69,621,857	△ 15,395,367
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,377,871	8,104,900	△ 6,727,029
前受金	37,000	50,000	△ 13,000
預り金	460,175	575,540	△ 115,365
流動負債合計	1,875,046	8,730,440	△ 6,855,394
2. 固定負債			
退職給付引当金	10,577,463	9,745,031	832,432
固定負債合計	10,577,463	9,745,031	832,432
負債合計	12,452,509	18,475,471	△ 6,022,962
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
正味財産合計	41,773,981	51,146,386	△ 9,372,405
負債及び正味財産合計	54,226,490	69,621,857	△ 15,395,367

## 2. 正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

公益財団法人愛媛県スポーツ協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	0	959	△ 959
受取会費	4,000,000	4,000,000	0
地域体育協会受取会費	1,000,000	1,000,000	0
競技団体受取会費	2,850,000	2,850,000	0
学校体育団体受取会費	150,000	150,000	0
受取登録料	13,348,700	13,624,100	△ 275,400
競技団体受取登録料	11,444,700	11,711,100	△ 266,400
スポーツ少年団受取登録料	1,904,000	1,913,000	△ 9,000
事業収益	4,155,300	3,668,730	486,570
受取参加料	1,053,400	954,700	98,700
受取審査料・認定料	1,323,880	1,177,040	146,840
受取協賛金	402,370	0	402,370
受取販売・広告料	1,106,000	1,091,000	15,000
その他事業収益	269,650	445,990	△ 176,340
受取負担金	30,000	480,000	△ 450,000
顕彰事業受取負担金	30,000	30,000	0
日独スポーツ少年団同時交流参加受取負担金	0	450,000	△ 450,000
受取補助金等	126,023,541	105,036,955	20,986,586
受取県費補助金等	105,065,240	84,694,775	20,370,465
受取日本スポーツ協会補助金等	4,329,210	2,510,600	1,818,610
受取スポーツ安全協会委託金	7,589,091	7,705,580	△ 116,489
受取スポーツ振興会助成金	9,000,000	9,000,000	0
受取その他補助金等	40,000	1,126,000	△ 1,086,000
受取寄付金	4,130,000	45,570,000	△ 41,440,000
雑収益	8,456	10,497	△ 2,041
受取利息	3,596	2,972	624
その他雑収益	4,860	7,525	△ 2,665
経常収益計	<b>151,695,997</b>	<b>172,391,241</b>	<b>△ 20,695,244</b>
(2) 経常費用			
事業費	157,399,390	144,728,817	12,670,573
給料手当	13,886,108	15,017,301	△ 1,131,193
法定福利費	4,189,985	5,607,552	△ 1,417,567
通勤手当	462,120	733,740	△ 271,620
臨時雇賃金	5,663,183	17,091,050	△ 11,427,867
住居手当	291,600	849,000	△ 557,400
賞与手当	3,966,987	4,936,810	△ 969,823
時間外手当	2,092,393	1,232,862	859,531
管理職手当	544,320	604,800	△ 60,480
福利厚生費	47,767	111,668	△ 63,901
諸謝金	3,399,750	2,673,900	725,850
旅費交通費	87,876,918	46,931,542	40,945,376
賃借料	2,612,530	4,693,103	△ 2,080,573
消耗品費	3,331,846	12,840,080	△ 9,508,234
印刷製本費	2,308,867	2,893,650	△ 584,783
通信運搬費	1,728,218	1,980,263	△ 252,045
支払助成金	20,222,158	20,731,412	△ 509,254
保険料	710,470	1,220,990	△ 510,520
支払負担金	1,218,035	1,786,774	△ 568,739
雑費	805,546	556,039	249,507
会議費	158,670	292,796	△ 134,126
消耗什器備品費	490,763	0	490,763
修繕費	450,522	353,808	96,714
支払手数料	64,527	154,615	△ 90,088
租税公課	21,060	24,660	△ 3,600
交際費	102,947	240,252	△ 137,305
管理職特別勤務手当	752,100	1,170,150	△ 418,050

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	3,669,012	4,107,372	△ 438,360
給料手当	676,234	324,000	352,234
法定福利費	227,147	59,186	167,961
通勤手当	13,320	5,880	7,440
臨時雇賃金	186,817	11,250	175,567
住居手当	32,400	0	32,400
賞与手当	272,210	81,124	191,086
時間外手当	112,907	7,869	105,038
管理職手当	60,480	0	60,480
退職給付費用	832,432	2,439,304	△ 1,606,872
福利厚生費	5,307	12,408	△ 7,101
諸謝金	8,250	3,600	4,650
旅費交通費	119,111	133,717	△ 14,606
賃借料	88,531	121,025	△ 32,494
消耗品費	75,969	50,874	25,095
印刷製本費	45,831	13,948	31,883
通信運搬費	95,346	94,979	367
保険料	1,480	2,330	△ 850
支払負担金	71,141	75,062	△ 3,921
雑費	12,231	21,716	△ 9,485
会議費	561,490	530,450	31,040
消耗什器備品費	54,529	0	54,529
修繕費	50,058	39,312	10,746
支払手数料	4,613	15,235	△ 10,622
租税公課	2,340	2,740	△ 400
交際費	11,438	26,013	△ 14,575
管理職特別勤務手当	47,400	35,350	12,050
<b>経常費用計</b>	<b>161,068,402</b>	<b>148,836,189</b>	<b>12,232,213</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 9,372,405	23,555,052	△ 32,927,457
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 9,372,405	23,555,052	△ 32,927,457
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 9,372,405	23,555,052	△ 32,927,457
一般正味財産期首残高	51,146,386	27,591,334	23,555,052
一般正味財産期末残高	41,773,981	51,146,386	△ 9,372,405
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	△ 36,600,000	36,600,000
一般正味財産への振替額	0	△ 36,600,000	36,600,000
国体強化基金	0	△ 36,600,000	36,600,000
当期指定正味財産増減額	0	△ 36,600,000	36,600,000
指定正味財産期首残高	0	36,600,000	△ 36,600,000
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	41,773,981	51,146,386	△ 9,372,405

### 3. 正味財産増減計算書内訳表

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

公益財団法人愛媛県スポーツ協会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
	公1 (スポーツ推進事業)		
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	2,000,000	2,000,000	4,000,000
地域体育協会受取会費	500,000	500,000	1,000,000
競技団体受取会費	1,425,000	1,425,000	2,850,000
学校体育団体受取会費	75,000	75,000	150,000
受取登録料	7,626,350	5,722,350	13,348,700
競技団体受取登録料	5,722,350	5,722,350	11,444,700
スポーツ少年団受取登録料	1,904,000	0	1,904,000
事業収益	4,155,300	0	4,155,300
受取参加料	1,053,400	0	1,053,400
受取審査料・認定料	1,323,880	0	1,323,880
受取協賛金	402,370	0	402,370
受取販売・広告料	1,106,000	0	1,106,000
その他事業収益	269,650	0	269,650
受取負担金	30,000	0	30,000
顕彰事業受取負担金	30,000	0	30,000
受取補助金等	121,523,541	4,500,000	126,023,541
受取県費補助金等	105,065,240	0	105,065,240
受取日本スポーツ協会補助金等	4,329,210	0	4,329,210
受取スポーツ安全協会委託金	7,589,091	0	7,589,091
受取スポーツ振興会助成金	4,500,000	4,500,000	9,000,000
受取その他補助金等	40,000	0	40,000
受取寄付金	3,630,000	500,000	4,130,000
受取寄附金	3,630,000	500,000	4,130,000
雑収益	4,860	3,596	8,456
受取利息	0	3,596	3,596
その他雑収益	4,860	0	4,860
経常収益計	138,970,051	12,725,946	151,695,997
(2) 経常費用			
事業費	157,399,390		157,399,390
給料手当	13,886,108		13,886,108
法定福利費	4,189,985		4,189,985
通勤手当	462,120		462,120
臨時雇賃金	5,663,183		5,663,183
住居手当	291,600		291,600
賞与手当	3,966,987		3,966,987
時間外手当	2,092,393		2,092,393
管理職手当	544,320		544,320
福利厚生費	47,767		47,767
諸謝金	3,399,750		3,399,750
旅費交通費	87,876,918		87,876,918
賃借料	2,612,530		2,612,530
消耗品費	3,331,846		3,331,846
印刷製本費	2,308,867		2,308,867
通信運搬費	1,728,218		1,728,218
支払助成金	20,222,158		20,222,158
保険料	710,470		710,470
支払負担金	1,218,035		1,218,035
雑費	805,546		805,546
会議費	158,670		158,670
消耗什器備品費	490,763		490,763
修繕費	450,522		450,522
支払手数料	64,527		64,527
租税公課	21,060		21,060
交際費	102,947		102,947
管理職特別勤務手当	752,100		752,100

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
	公 1 (スポーツ推進事業)		
管理費		3,669,012	3,669,012
給料手当		676,234	676,234
法定福利費		227,147	227,147
通勤手当		13,320	13,320
臨時雇賃金		186,817	186,817
住居手当		32,400	32,400
賞与手当		272,210	272,210
時間外手当		112,907	112,907
管理職手当		60,480	60,480
退職給付費用		832,432	832,432
福利厚生費		5,307	5,307
諸謝金		8,250	8,250
旅費交通費		119,111	119,111
賃借料		88,531	88,531
消耗品費		75,969	75,969
印刷製本費		45,831	45,831
通信運搬費		95,346	95,346
保険料		1,480	1,480
支払負担金		71,141	71,141
雑費		12,231	12,231
会議費		561,490	561,490
消耗什器備品費		54,529	54,529
修繕費		50,058	50,058
支払手数料		4,613	4,613
租税公課		2,340	2,340
交際費		11,438	11,438
管理職特別勤務手当		47,400	47,400
経常費用計	157,399,390	3,669,012	161,068,402
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 18,429,339	9,056,934	△ 9,372,405
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 18,429,339	9,056,934	△ 9,372,405
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 18,429,339	9,056,934	△ 9,372,405
当期一般正味財産増減額	△ 18,429,339	9,056,934	△ 9,372,405
一般正味財産期首残高	△ 27,767,844	78,914,230	51,146,386
一般正味財産期末残高	△ 46,197,183	87,971,164	41,773,981
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	△ 38,240,000	38,240,000	0
指定正味財産期末残高	△ 38,240,000	38,240,000	0
III 正味財産期末残高	△ 84,437,183	126,211,164	41,773,981



## 4. 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 引当金の計上基準  
退職給付引当金・・・職員の退職給付の支給に備えるため、期末自己都合要給付額に相当する金額を計上している。
- (2) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込み方式によっている

### 2. 会計方針の変更

なし

### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	9,745,031	832,432	0	10,577,463
競技力向上特別強化基金	27,972,000	0	0	27,972,000
合 計	37,717,031	832,432	0	38,549,463

### 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	10,577,463	-	-	(10,577,463)
競技力向上特別強化基金	27,972,000	-	(27,972,000)	0
合 計	38,549,463	-	(27,972,000)	(10,577,463)

### 5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
【補助金】						
国民体育大会派遣費補助金	愛媛県	0	75,950,040	75,950,040	0	
国体予選会派遣費等補助金	愛媛県	0	7,024,814	7,024,814	0	
国体競技力向上環境整備費補助金	愛媛県	0	510,600	510,600	0	
スポーツ医科学指導者派遣事業費補助金	愛媛県	0	10,113,690	10,113,690	0	
日独スポーツ少年交流事業費補助金	愛媛県	0	630,000	630,000	0	
青少年教育団体振興事業費補助金	愛媛県	0	282,000	282,000	0	
県スポーツ協会機能強化補助金	愛媛県	0	9,233,152	9,233,152	0	
一町一技スポーツ推進事業費補助金	愛媛県	0	1,320,944	1,320,944	0	
【交付金等】						
都道府県スポーツ指導者研修会委託金	(公財)日本スポーツ協会	0	296,000	296,000	0	
アンチドーピング教育啓発事業委託金	(公財)日本スポーツ協会	0	200,000	200,000	0	
公認スポーツ指導者育成交付金等	(公財)日本スポーツ協会	0	479,000	479,000	0	
国体傷害保険補償制度事務手数料	(公財)日本スポーツ協会	0	50,900	50,900	0	
スポーツ少年団認定員養成講習会委託金	(公財)日本スポーツ協会	0	330,000	330,000	0	
スポーツ活動サポートキャンペーン事業交付金	(公財)日本スポーツ協会	0	60,000	60,000	0	
スポーツ少年団組織整備強化事業費助成金	(公財)日本スポーツ協会	0	2,345,000	2,345,000	0	
スポーツ指導員養成講習会委託金	(公財)日本スポーツ協会	0	564,310	564,310	0	
スポーツ振興普及事業奨励金等	(公財)日本スポーツ協会	0	4,000	4,000	0	
スポーツ安全協会委託金	(公財)スポーツ安全協会	0	7,589,091	7,589,091	0	
スポーツ振興会助成金	愛媛県スポーツ振興会	0	9,000,000	9,000,000	0	
スポーツ振興支援事業助成金	(公財)大島スポーツ振興財団	0	40,000	40,000	0	
合 計		0	126,023,541	126,023,541	0	

### 6. その他公益法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減

の状況を明らかにするための必要な事項

- (1) 本会への寄附者は、以下の通りである。

寄付区分	寄付者氏名	金 額 (円)
一般寄附	愛媛県	300,000
一般寄附	愛媛県議会議長	50,000
一般寄附	愛媛県議会スポーツ振興議員連盟	100,000
一般寄附	(一財)豫山会	1,000,000
一般寄附	(公財)日本スポーツ協会	1,000,000
一般寄附	㈱セレスポ	1,000,000
一般寄附	役員、顧問他	680,000
合 計		4,130,000

## 5. 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	9,745,031	832,432			10,577,463

## 6. 財産目録

平成31年3月31日現在

公益財団法人愛媛県スポーツ協会

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	70,000
預金	普通預金 伊予銀行愛媛県庁支店 1085621 愛媛銀行県庁支店 3792327 愛媛信用金庫本店営業部 1210284		1,814,425 717,991 434,216 662,218
未収金			13,713,832
愛媛県 (公財)日本スポーツ協会 前払金			13,602,932 110,900 78,770
流動資産合計			15,677,027
(固定資産)			
特定資産			
退職給付引当資産			10,577,463
定期預金	伊予銀行愛媛県庁支店 7092035		10,577,463
競技力向上特別強化基金	伊予銀行愛媛県庁支店 7172266 (009)		27,972,000
愛媛銀行県庁支店	75266182		19,849,636 8,122,364
固定資産合計			38,549,463
資産合計			54,226,490
(流動負債)			
未払金			1,377,871
日本郵便(株)			205,447
社会保険料			298,490
職員			619,414
ヤマト運輸			13,666
伊予銀行			7,344
松山共同集金			20,130
リコージャパン			7,344
西村商事			14,698
愛媛労働局			21,984
愛媛信用金庫			324
伊方町スポーツ協会			35,236
今治市スポーツ少年団			132,920
(株)船倉			874
前受金			37,000
預り金			460,175
社会保険料			292,660
源泉所得税			167,515
流動負債合計			1,875,046
(固定負債)			
退職給付引当金			10,577,463
固定負債合計			10,577,463
負債合計			12,452,509
正味財産			41,773,981

# 〔説明資料〕正味財産増減計算書（予算対比）

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

（単位：円）

科目	予算額	決算額	差異	備考
I 一般正味財産の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
<b>受取会費</b>	<b>4,000,000</b>	<b>4,000,000</b>	<b>0</b>	①加盟団体会費
地域体育協会受取会費	1,000,000	1,000,000	0	
競技団体受取会費	2,850,000	2,850,000	0	
学校体育団体受取会費	150,000	150,000	0	
<b>受取登録料</b>	<b>13,624,000</b>	<b>13,348,700</b>	<b>275,300</b>	②個人登録料
競技団体受取登録料	11,711,000	11,444,700	266,300	
スポーツ少年団受取登録料	1,913,000	1,904,000	9,000	
<b>事業収益</b>	<b>3,034,000</b>	<b>4,155,300</b>	<b>△ 1,121,300</b>	③各種事業に伴う収益
受取参加料	1,093,000	1,053,400	39,600	
スポーツ少年大会受取参加料	985,000	894,400	90,600	
四国ブロックスポーツ少年団大会受取参加料	48,000	78,000	△ 30,000	
ジュニアリーダースクール受取参加料	60,000	81,000	△ 21,000	
受取審査料・認定料	1,695,000	1,323,880	371,120	
スポーツ少年団認定員養成講習会受取参加料	660,000	624,840	35,160	
スポーツ指導者義務研修受取登録料	603,000	427,500	175,500	
スポーツ指導者養成講習会受取登録料	200,000	57,500	142,500	
スポーツ指導者資格証明書発行手数料	10,000	4,000		
スポーツリーダー養成講習会受取認定料	159,000	152,040	6,960	
認定旅館受取認定料	63,000	57,000	6,000	
その他受取審査料・認定料	0	1,000	△ 1,000	
受取協賛金	0	402,370	△ 402,370	
その他受取協賛金	0	402,370	△ 402,370	
受取販売・広告料	196,000	1,106,000	△ 910,000	
スポーツ俳句大賞受取広告料	0	800,000	△ 800,000	
スポーツ少年大会受取広告料	90,000	90,000	0	
ホームページ受取広告料	84,000	126,400	△ 42,400	
その他受取販売・広告料	22,000	89,600	△ 67,600	
その他事業収益	50,000	269,650	△ 219,650	
自販機設置事業収益	50,000	269,650	△ 219,650	
<b>受取負担金</b>	<b>40,000</b>	<b>30,000</b>	<b>10,000</b>	④各種事業に伴う負担金
顕彰事業受取負担金	30,000	30,000	0	
顕彰事業受取負担金	30,000	30,000	0	
その他事業受取負担金	10,000	0	10,000	
その他事業受取負担金	10,000	0	10,000	

科目	予算額	決算額	差異	備考
<b>受取補助金等</b>	<b>127,794,000</b>	<b>126,023,541</b>	<b>1,770,459</b>	⑤各団体からの補助金等
受取県費補助金等	105,156,000	105,065,240	90,760	⑥愛媛県からの補助金等
受取国民体育大会派遣費補助金	70,653,000	75,950,040	△ 5,297,040	⑦国民体育大会派遣費の増額
受取国体予選会派遣費等補助金	8,907,000	7,024,814	1,882,186	⑧国体予選会の事業経費の減少による減額
受取国体競技力向上環境整備費補助金	598,000	510,600	87,400	
受取スポーツ医科学指導者派遣事業費補助金	11,606,000	10,113,690	1,492,310	⑨実施回数減少に伴う減額
受取一町一技スポーツ推進事業費補助金	1,500,000	1,320,944	179,056	
受取日独スポーツ少年交流事業費補助金	630,000	630,000	0	
受取青少年教育団体振興事業費補助金	262,000	282,000	△ 20,000	
受取組織機能強化補助金	11,000,000	9,233,152	1,766,848	
受取日本スポーツ協会補助金	6,221,000	4,329,210	1,891,790	⑩日本スポーツ協会からの補助金等
受取スポーツ指導員養成講習会委託金	1,500,000	564,310	935,690	
受取都道府県スポーツ指導者研修会委託金	260,000	296,000	△ 36,000	
受取アンチドーピング教育啓発事業委託金	200,000	200,000	0	
受取公認スポーツ指導者育成交付金等	440,000	479,000	△ 39,000	
受取スポーツ振興普及事業奨励金等	60,000	4,000	56,000	
受取国体傷害保険補償制度事務手数料	50,000	50,900	△ 900	
受取スポーツ少年団認定員養成講習会委託金	330,000	330,000	0	
受取スポーツ活動サポートキャンペーン事業交付金	60,000	60,000	0	
受取スポーツ少年団組織整備強化事業費助成金	2,321,000	2,345,000	△ 24,000	
受取国際交流事業費委託金	1,000,000	0	1,000,000	⑪事業中止に伴う減額
受取スポーツ安全協会委託金	7,417,000	7,589,091	△ 172,091	⑫スポーツ安全協会からの委託金
受取スポーツ安全協会委託金	7,417,000	7,589,091	△ 172,091	
受取スポーツ振興会助成金	9,000,000	9,000,000	0	⑬スポーツ振興会からの助成金
受取スポーツ振興会助成金	9,000,000	9,000,000	0	
受取その他補助金等	0	40,000	△ 40,000	
受取その他補助金等	0	40,000		
<b>受取寄附金</b>	<b>2,820,000</b>	<b>4,130,000</b>	<b>△ 1,310,000</b>	⑭団体・個人からの寄附金
受取寄附金	2,820,000	4,130,000	△ 1,310,000	
受取国体激励金寄附金	450,000	450,000	0	
受取豫山会寄附金	1,000,000	1,000,000	0	
受取スポーツ協会役員等寄附金	770,000	680,000	90,000	
受取その他寄附金	600,000	2,000,000	△ 1,400,000	⑮西日本豪雨災害寄附金等の増額
<b>雑収益</b>	<b>6,000</b>	<b>8,456</b>	<b>△ 2,456</b>	⑯その他の収益
受取利息	5,000	3,596	1,404	
その他雑収益	1,000	4,860	△ 3,860	
<b>経常収益計</b>	<b>151,318,000</b>	<b>151,695,997</b>	<b>△ 377,997</b>	

科目	予算額	決算額	差異	備考
(2) 経常費用				
事業費				
<公1 スポーツ推進事業>	136,530,000	136,662,112	△ 132,112	
(国民体育大会派遣事業)	82,161,000	86,143,313	△ 3,982,313	⑰国民体育大会に関する事業費
国民体育大会派遣事業費	70,653,000	75,950,040	△ 5,297,040	⑱選手・監督の宿泊費等の増加による増額
国体予選会派遣事業費	8,907,000	7,024,814	1,882,186	⑲国体予選会の開催等経費の減少による減額
国体競技力向上環境整備事業費	598,000	510,600	87,400	
アンチドーピング教育・啓発事業費	282,000	334,292	△ 52,292	
国民体育大会関係事業費	1,721,000	2,323,567	△ 602,567	
(スポーツ活動顕彰事業)	1,907,000	2,421,512	△ 514,512	⑳表彰に関する事業費
スポーツ活動顕彰事業	1,883,000	2,375,418	△ 492,418	㉑受賞者増加による経費の増額
愛媛県スポーツ少年団顕彰事業費	24,000	46,094	△ 22,094	
(スポーツ指導者育成事業)	1,773,000	1,057,355	715,645	㉒指導者養成・育成に関する事業費
スポーツ指導者養成講習会事業	1,560,000	578,083	981,917	
スポーツ指導者義務研修会事業	134,000	363,320	△ 229,320	
スポーツ指導者関係事業	79,000	115,952	△ 36,952	
(青少年スポーツ育成事業)	6,137,000	5,836,454	300,546	㉓ジュニアスポーツに関する事業費
スポーツ少年団指導者事業	979,000	742,327	236,673	
スポーツ少年団リーダー育成事業	557,000	572,127	△ 15,127	
スポーツ少年大会事業	3,159,000	2,842,372	316,628	
スポーツ少年団関係事業費	1,382,000	1,648,728	△ 266,728	
ジュニアスポーツ支援事業	60,000	30,900	29,100	
(スポーツ普及促進事業)	44,552,000	41,203,478	3,348,522	㉔スポーツの普及振興・選手強化に関する事業費
県民スポーツ振興事業費	5,140,000	6,504,319	△ 1,364,319	
全国大会等開催事業費	500,000	100,000	400,000	
スポーツ安全事業費	7,267,000	7,419,000	△ 152,000	
スポーツ医科学活用推進事業費	11,606,000	10,113,690	1,492,310	
競技力向上強化対策事業	5,880,000	4,404,090	1,475,910	
国際交流事業費	2,263,000	1,151,704	1,111,296	
組織機能強化事業費	11,896,000	11,510,675	385,325	
<公 共通>	20,706,000	20,737,278	△ 31,278	㉕公益目的事業にかかる運営費の科目振替
<法人> 管理費	3,565,000	3,669,012	△ 104,012	㉖協会運営に関する経費
経常費用計	160,801,000	161,068,402	△ 267,402	
当期経常増減額	△ 9,483,000	△ 9,372,405	△ 110,595	
2 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 9,483,000	△ 9,372,405	△ 110,595	
一般正味財産期首残高	55,621,000	51,146,386	4,474,614	
一般正味財産期末残高	46,138,000	41,773,981	4,364,019	

科目	予算額	決算額	差異	備考
II 指定正味財産増減の部			0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	46,138,000	41,773,981	4,364,019	

# 監 查 報 告






## 監査報告書

公益財団法人愛媛県スポーツ協会  
会長 中村 時広 様

2019年5月9日

公益財団法人愛媛県スポーツ協会

監事 原田 尚範   
監事 竹本 道代   
監事 上田 憲二 

私たち監事は、平成30年4月1日～平成31年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びこれらの附属明細書並びに財産目録（「計算書類等」という。）について検討いたしました。

### 2 監査意見

#### (1) 事業報告等の監査結果

- 1) 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類等の監査結果

計算書類及び財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。